

# ほっと京たなべ

ナルホドを\やってみよう/につなぐ広報紙

# 12

Dec.2025  
No.955

京田辺市×同志社

特集

## ともに歩んだ20年

注目情報



17ページ 路線バスに乗ろう!交通系ICカードにポイント付与  
22ページ 乳がん・子宮頸がん検診  
32-33ページ 年末年始のお知らせ

挟み込み





# 京田辺市×同志社 ともに歩んだ20年

市と同志社（大学・女子大学、国際中学校・高等学校）が連携協力に関する協定（包括協定）を締結して、今年で20周年を迎えます。今号では、これまでの連携の歩みと連携事業の一端を紹介します。問合せ先 市民参画課（☎64・1314）

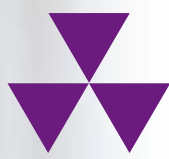
連携を強化して一緒に難局を乗り越えたい



京田辺市長 上村 崇 (53)

平成31年に市長就任。現在2期目。  
同志社大学法学部卒業・同大学院総合政策科学研究科修士課程修了 趣味は読書

## 特別対談



学校法人同志社総長・理事長

八田 英二さん (76)

同志社大学名誉教授  
趣味は芸術鑑賞

学生と関わって成長を手助けして

行政を担う「京田辺市」と、同志社大学、同志社女子大学、同志社国際中学校・高等学校を運営する「学校法人同志社」のトップ同士が、京田辺キャンパスで対談しました。連携をテーマに、現在・過去・未来という時間軸で語ってもらいました。

### 京田辺・同志社の今を語る

**総長** 市と連携協力に関する協定（包括協定）を締結するに伴い、地域と同志社をつなぐ窓口として、同志社大学に京田辺地域連携推進室を設けました。同志社では、学生が学内で学ぶだけでなく、地域の人々と関わることを重視しています。そして、地域が抱える課題に対して、大学の研究や教育資源を活用して、行政と一緒に解決に向けて取り組んでいます。

**市長** 「大学のあるまち」の魅力としては、大学教員や学生の皆さんの知識・技術をまちづくりに生かせることや、市民の皆さんが教員・学生と交流する機会に恵まれるなどたくさんあります。研究成果などが日常生活で実感できると、大学をより身近な存在として感じられるのではないのでしょうか。

**総長** 市民の皆さんには、大学の資源を積極的に活用していただきたいです。連携事業への参加はもちろんです。が、キャンパスも開放していますので、ぜひ一度、足を運んでみてください。

また、学生には、このまちを「第2のふるさと」と感じられるくらい地域と関係を深めることで、視野を広げるとともに、成長の糧にしたいと思います。

### これまでを振り返って

**市長** 市と同志社は、協定締結以来、年間100件を超える連携事業を展開しています。中でも印象に残っている事業は、コロナ禍の影響で、帰国も外出もできない留学生に対して行った地元食材を販売するサービスです。大変好評で150件を超える申し込みがありました。地域と大学の結びつきによって課題が解決しただけでなく、留学生が本市に愛着を抱くきっかけとなったことを実感しました。

また、同志社大学・同志社女子大学が市内に立地してから若い世代の人口が増え、まちに活気とにぎわいが生まれました。

**総長** 20年間の長きに渡って地域に関わらせてもらったことで、まちにも良い影響を与えられる存在になったのではないのでしょうか。今後も、地域に密着した活動を展開していきたいです。



### 連携の歴史はここから

平成17年、あらゆる分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材育成などを図るため、市と同志社大学、同志社女子大学、同志社国際中学校・高等学校の4者は連携協力に関する協定を結びました。八田さんは同志社大学長（当時）として握手を交わしています（左端）。

場所：京田辺市役所



# 京田辺市とともに歴史を刻む同志社

まちづくりのパートナーである同志社と市民との関わりの変遷を紹介します。  
学内にあるホールや施設などは市のイベントで使用する機会も多いです。



建設中のラーネッド記念図書館④と完成した姿⑤

第7回目では大学長・経済学部教授(当時)の八田英二さんが講義



● 1875年(明治8年) 同志社創立 ※同志社大学の源流となる同志社英学校

● 1980年(昭和55年)  
同志社国際高等学校開校

● 1986年(昭和61年)

同志社大学・同志社女子大学田辺キャンパス 開校

(現京田辺キャンパス)

● 同年 JR 同志社前駅開業

● 1988年(昭和63年)  
同志社国際中学校開校



建設中の駅舎と歩道橋



パイプオルガンも備える  
1,000人収容の大ホール

● 同年 新島記念講堂完成(同女子大内)

● 1993年(平成5年)  
京たなべ・同志社ヒューマンカレッジスタート

● 2003年(平成15年)  
同志社ローム記念館完成

● 2005年(平成17年)

市と同志社包括協定締結



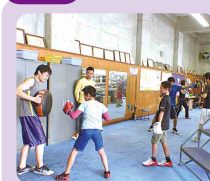
● 同年 アダム祭  
(現 同志社クローバー祭)スタート



● 2008年(平成20年)  
同志社山手がまちびらき

● 同年 京たなべ・同志社  
スポーツクラブ(KDSC)  
スタート

一例



ボクシング教室



バスケットボール教室



フリークライミング教室

スポーツ施設が充実するキャンパスで、  
市民が学生からさまざまな競技を学べる教室

最新のマルチメディア  
設備や劇場空間  
などを備えた施設



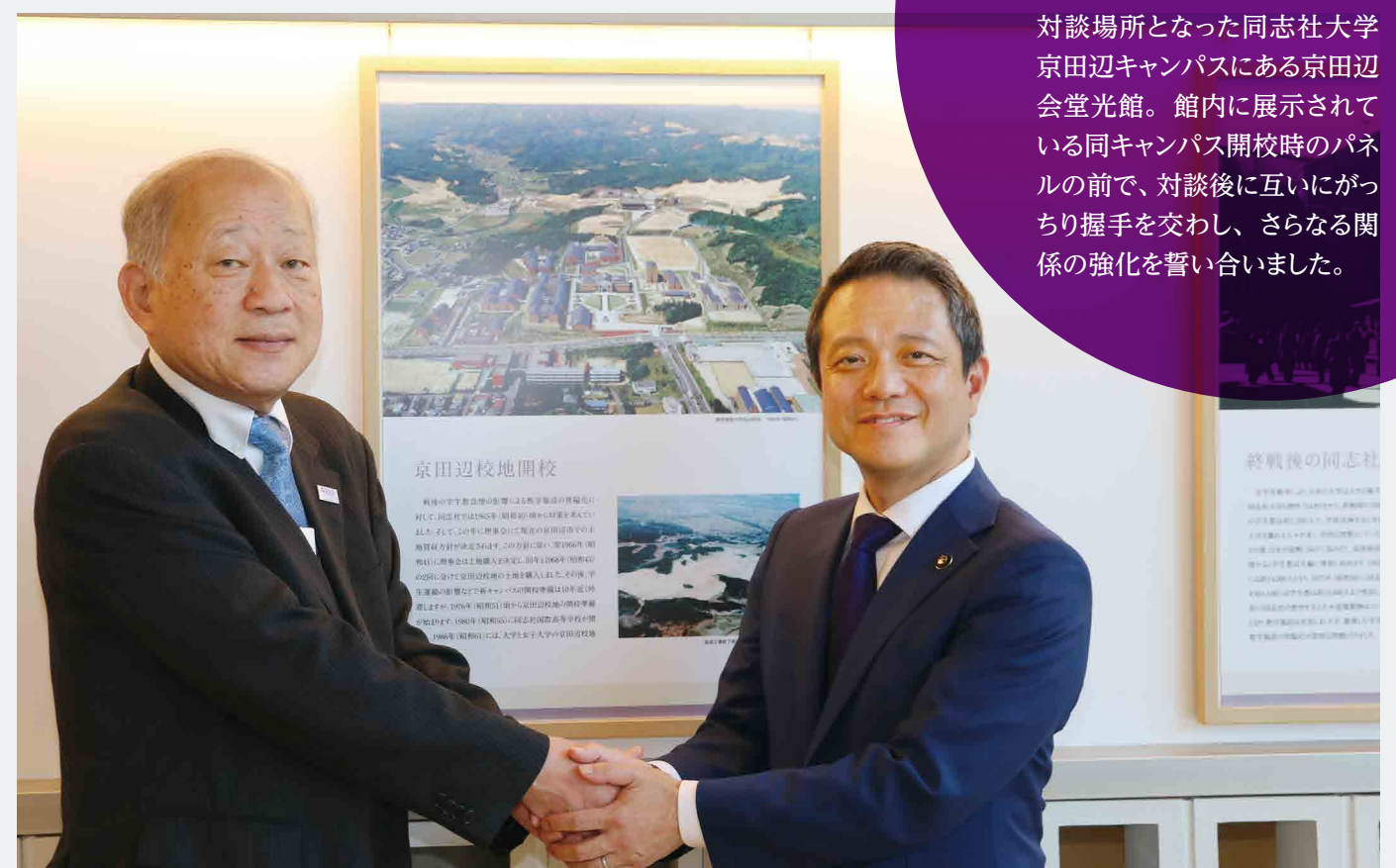
● 2013年(平成25年) 理系学部の拠点に(文系は今出川キャンパスに移転)

● 2018年(平成30年) 同志社大学サイエンスアカデミースタート

● 2021年(令和3年) 市大学連携ディスカバリーベース設置

● 2025年(令和7年) 同志社創立150周年 市と同志社包括協定締結20周年

6ページ



対談場所となった同志社大学京田辺キャンパスにある京田辺会堂光館。館内に展示されている同キャンパス開校時のパネルの前で、対談後に互いにがっちり握手を交わし、さらなる関係の強化を誓い合いました。

## 未来に向けて

総長 今年、同志社創立150周年の節目の年でもあります。大学の記念事業として、京田辺キャンパスに新アリーナ棟・多目的コート棟からなるスポーツ交流拠点「スポーツ・コンプレックス」を整備しており、アリーナは来年春、多目的コートは再来年春の竣工を予定しています。地域の人々と連携・協働しながら産学官を推進し、地域活性化につながる拠点になればと考えています。

市長 子育て世帯を中心に転入増加が続く本市ですが、令和12年をピークに減少に転じると推計されています。そこで、人口減少というマイナス要因をプラスに変える発想が必要で、地域の課題解決に向けて、行政・大学・企業の協働の幅を広げるとともに、持続可能な連携を支える仕組みを構築したいです。まちづくりのパートナーである同志社との連携を一層強化することで、一緒に難局を乗り越えていければと考えています。

## 学生・市民へメッセージ

市長 学生時代は人間関係を広げ、深められる大切な時期です。キャンパスライフだけでなく、積極的に地域に出て人脈を広げ、さまざまな経験を積むことで、自己を高めてもらいたいです。その過程で、京田辺市を好きになってくれたらうれしいです。

総長 社会の一員としての責任感や共生力を学生が育くめるよう、市民の皆さんに手助けをお願いしたいです。連携事業などを通じて、どんどん学生と関わっていただけると幸いです。

11月12日、職場体験学習で秘書広報課に来てくれた大住中学校2年生が写真撮影を体験しました。初めて扱う一眼レフのカメラを慎重に構えながら、学生が持つパルーンの角度を指示したり、笑顔を引き出す声掛けをしたりして、懸命に表紙デビューを目指しました。

大住中2年生が撮影体験



## これも電池になるの？ ふしぎ発電実験！

レモンで電池を作り、数を増やしなが  
ら、スピーカーから流れる音の鳴り方の違いを確認したよ。

これを  
つなげてみて



かすかに聞こえる  
「きよしこの夜」のメロディ



レモンを増やすと  
音量が大きくなったよ。

### 【参加者の感想】

レモンの数を増やした場合や、水や酢ではど  
うなるかを考える場面もあり、勉強になりまし  
た。帰宅後もおしゃべりが止まりませんでした。

## プログラミングで ミュージックビデオを作ろう！

ビートに合わせて歌詞の表示やキャラクターを動かして、  
自分だけの歌詞アニメーションを作ったよ。



## (あそび) + (くふう) = (さんすうはかせ) : その2!

パズルやサイコロ型のお菓子の箱を使って、  
頂点・辺・面の数を数えるなど、遊びながら算数に親しんだよ。

パズルに  
夢中!



使った教材は  
プレゼント♡

### 【参加者の感想】

算数は苦手意識がありましたが、パズルは大好き  
で、パズルの中に隠れている算数のことを知れて  
楽しかったです。

## 連携事業は年間100件以上!

市と同志社は、大学が有する知的資源と市民・地域とをつなぐ窓口「市大学連携ディスカバリーベース」を設  
けています。この窓口を通じて、まちの課題解決につながる研究を大学教員へ委託したり、大学教員が小・中  
学校で授業を行ったりするなど、年間100件を超える連携事業を展開しています。夏に開いた2つのイベントを  
紹介します。

## つちのなかの虫を 見てみよう!

土や落ち葉の中にいる小さな虫を、  
虫めがねや顕微鏡を使って調べたよ。



虫みつけ!

なんか  
動いてるよ!



葉っぱの下に  
虫いるかな?



### 【参加者の感想】

昆虫の分類や採集方法など、初めて知ること  
ばかりでした。また大学の先生や院生に直接  
聞けて良かったです。

**#1サイエンスアカデミー**  
大学の教員や学生から楽し  
く科学が学べるサイエンスア  
カデミー。小・中学生に理科  
に興味・関心を持ってもらう  
ため、理系学部のある同志社  
大学京田辺キャンパスで毎年  
開いています。  
7回目を迎えた今年は8月  
6日に開かれ、5種類の教室  
に計113人が参加しました。



## 無線信号でロボットを 動かそう!

感覚のできるプログラミングソフトを使って、  
ロボット車を指示通りに走行させたよ。

### 【参加者の感想】

使用したプログラミング学習ソフト「スクラッチ」  
は小学校で習っていたので、分かりやすかった。  
先生や学生が優しく教えてくれて良かった。面  
白くて時間があっという間に過ぎました。



プログラム通り  
走ってくれるかな～  
ドキドキ





## #2 多文化共生イベント

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部の留学生は、外国人住民が地域コミュニティにスムーズに参加できるきっかけづくりのため、互いの考え方や文化の違いを楽しく学べるイベントを開きました。企画した留学生の代表者4人に話を伺いました。

### 異文化の両者をつなぐ

### 架け橋になりたい

#### ーイベントの目的は

大学で「地域住民と在日外国人を結ぶ活動」をテーマにイベントを企画する授業がありました。そこで、日本人と外国人が互いの文化や考え方の違いを楽しみながら学べるイベントを立案し、外国人住民の日本語学習を支援する団体「京田辺国際ふれあいネット」の皆さんと協力して本イベントを企画しました。

#### ー工夫した点は

市内の日本語教室を見学した際、受講者によって日本語のレベルに差があったほか、1対1の形式だったため、あまり交流がありませんでした。そこで、参加者全員が意見交換できる場を目指しました。YES・NOを青と赤の紙で簡単に意思表示できるようにしたり、進行も大きな声でゆっくり話すことを心掛けたり、できるだけ難しい言

#### ー良かったことは

アンケートで「自分と違う国の文化が知れて面白かった」「自分の当たり前が、他人には当たり前ではないと知って驚いた」という感想をたくさんもらえたことです。文化の違いを「壁」ではなく「発見」として楽しんでもらえたと実感できて、うれしかったです。

#### ー難しかったことは

日本語をあまり話せない人へのフォローです。できる限り対策したつもりですが、日本語が得意な人にどうしても発言が集中してしまい、全員から均等に

意見を引き出すことの難しさを痛感しました。

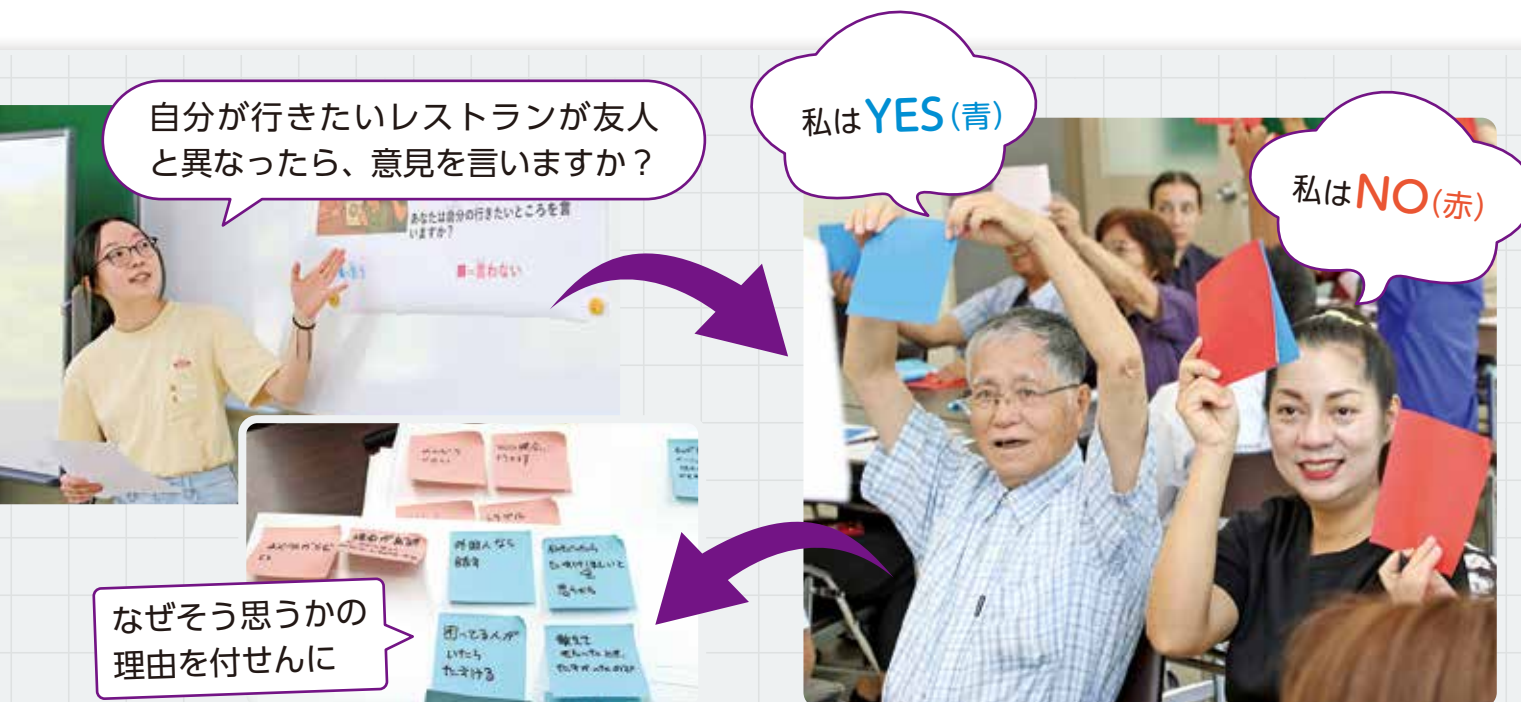
#### ーこのイベントで学んだことは

報告・連絡・相談の大切さや、丁寧な確認作業、そしてリスクを想定した緻密な準備といった

仕事の進め方を身をもって学びました。大事なことは、私たち外国人が日本社会に受け入れてもらいたいように、私たちも日本文化に対してオープンな心を持つて接するべきだと改めて思いました。これは、将来日本で働く上で必ず役立つ実践的なスキルだと感じています。

#### ーこの経験をどのように社会に役立てたいか

国籍や文化が違う人々の間に立って、双方の意見を調整し、円滑なコミュニケーションを生み出す「架け橋」のような存在になりたいと思っています。そして、今回得た反省点を踏まえて、多様な人々が集まる場所でも、誰も取り残さない環境づくりに貢献していきたいと考えています。



自分が行きたいレストランが友人と異なったら、意見を言いますか？

私はYES(青)

私はNO(赤)

なぜそう思うかの理由を付せんに

7月29日、中央公民館にて



コ バイコウ  
顧 梅康さん (中国出身)

休日は京都のお寺や街並みを撮り歩いています。日本に来て驚いたことは、ごみの分別がとても細かいことです。最初は覚えるのが大変でしたが、今ではすっかり慣れました。



イ ヘリ  
李 恵理さん (韓国出身)

ネットフリックスを見ることが好きです。また、動物のドキュメンタリーや料理の動画をよく見ます。日本に来て驚いたことは、サービスがとても丁寧で、「ここまでやるのか」と思いました。



ティリ アウン ナインさん  
(ミャンマー出身)

休日は家の掃除をするなど、のんびり過ごします。歌を歌ったり、絵を描いたりするのが好きです。日本に来て驚いたことは、辛いものが食べられない人が多いことです。



ン ホイチン  
吳 凱晴さん (香港出身)

サブカルチャーが好きで、ゲームしたりアニメを見たりしています。日本に来て驚いたことは、ヒトカラ(1人カラオケ)文化です。母国では必ず友達と行くイメージなので。



# ／ほんの一端を切り取る／ 市と大学の協働ストーリー

市は、同志社以外の大学とも連携協定を結び、共にさまざまな分野で取り組みを進めています。昨年度は137件の事業が展開されました。

## 同志社大学 (平成17年1月から連携)



馬術部と普賢寺幼稚園児が交流



市立3中学校の部活生に、  
野球・サッカー・ハンドボール・  
陸上を技術指導

## 他にはこんな事業も！

- ▼同志社クローバー祭
- ▼京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ
- ▼京たなべ・同志社スポーツクラブ(KDSC)
- ▼スポーツフェスティバル



## 同志社女子大学 (平成17年1月から連携)



音楽学科の学生が  
小学校で音楽の紹介



地域を盛り上げる学生団体  
「同志社女子大学まちづくり委員会」



こども学科の教授・学生が  
保育士と一緒に園庭に築山を造る  
プロジェクト

## 同志社国際 中学校・高等学校 (平成17年1月から連携)



市長によるまちづくりについての講演

## 多文化が「普通」の

## 社会を目指して

### 研究内容は

専門は、初等教育の中でも外国語教育ですが、同志社女子大学に来てからは、国際理解や多文化共生をテーマに研究の範囲を広げています。小学校では平成23年度より外国語活動が必修となり、学習指導要領で「原則英語」と定められましたが、今、日本では、中国語、ポルトガル語、フィリピン語などを家庭言語とする児童

### 研究のきっかけは

子育て経験や、初等教育を教える機会があり、こども期の成長

が増えています。

それらの児童にとっては、日本語も英語も外国語です。現場の先生は、日本語と英語の能力に差がある多様なこどもの「外国語教育」に頭を悩ませており、その解決のために、具体的な教材開発を進めています。

## Interview 研究者の声



同志社女子大学 現代社会学部  
現代こども学科 教授 岩坂 泰子さん

自分の体力を考えて2年前からジムに通っています。身体を動かすと仕事のスイッチがオフになるので、良いリフレッシュになっています。

### 研究で心掛けていることは

教育と研究を分けて考えないことです。また、余暇と仕事をあまり区別していません。日常生活の中で、常に教材作りや研究を行っており、仕事と趣味の線引きなく、ずっとスイッチが入っている状態です。ただ、自分のこどもに教材を試してもらうなど、楽しく取り組んでいます。

### 市民の皆さんにメッセージ

同志社女子大学が京田辺市に移転してから、40年近くになります。私たちは、地域に開かれた大学として、市民の皆さんと交流する活動を増やしていきたいです。地域や小学校、保育所、幼稚園などと連携して、たくさんの取り組みを進めていきたいです。

## New 摂南大学 (令和7年11月10日に連携協定締結)



大学・事業者・市民が  
連携してクラフトビールを開発・  
ビールまつりを開催



## 京都府立大学 (令和4年3月から連携)



市史編さん事業を調査



綴喜古墳群の保存計画を  
市民と考えるワークショップ



小学生に地域の  
歴史を現地で解説

フィリピンやカンボジアのスラムでの学習ツアーを通して、私たちが抱いていた貧困のイメージが変化したことを、こどもたちに聞いてもらったよ。



SDGsの学習の中で、着なくなった服を回収する企業からリサイクルの大切さを学んだよ。



岩坂ゼミ生が三山木小学校で授業  
国際理解・多文化共生を伝える





# まちかど photo

昨年より2万人多い約6万人が来場！



ステージトラック

秋晴れに恵まれた11月2日、たなフェス2025が田辺中央体育館周辺で盛大に開かれました。4月に市のPR大使に就任した地元出身タレントの大倉士門さんも来場し、イベントの盛り上げに大きく貢献してくれました。新たな企画も増え、進化したたなフェスに、たくさんの市民の笑顔が弾けていました。



同志社クローバー祭 打ち上げ花火



シゴトニア

市内企業のお仕事が楽しく学べたよ！



環境フェスタ in タナクロ



大阪府立淀川工科高校 スペシャルコンサート



交流都市ブースで買い物

## PR大使 大倉士門さんが盛り上げに一役



奈良商工高校 和太鼓部の演奏



田辺高校ミニ鉄道

明日筋肉痛やわ。結構キツイ！

やっほ～



「世界に一つだけの花」の指揮を即興で披露。緊張したけど面白かった！



消防フェス

防火服は重かった

※1,000人以上の皆さんと撮影できて楽しかったよ  
※たなフェス全体で

# クリスマスを楽しもう♪

記載がないものは、申込不要・無料

## クリスマスマーケット

障がいのある人の就労を支援する市内の事業所でつくる「（一社）京田辺みんなの働くプロジェクト」が中心となり、クリスマスマーケットを開きます。京都山城京田辺支店JAまつりと同時開催なので、どちらも楽しんでください。  
日時＝12月20日(土)午後3時～9時  
場所＝京田辺クロスパーク  
内容＝▼クリスマス雑貨・手作り小物・温かいスープ・ホットドリンクなどの物販ブース▼音楽ステージ▼こども向けワークショップ  
問合せ先＝（一社）京田辺みんなの働くプロジェクト（☎27-2512）

## 同志社京田辺アドベント礼拝

日時＝12月12日(金)午後4時40分～6時（予定）  
場所＝同志社大学京田辺キャンパス同志社京田辺会堂言館  
内容＝聖書のメッセージ・バイオリンアンサンブル・賛美歌の合唱・ハンドベルなど  
問合せ先＝同志社大学キリスト教文化センター（☎65-7370〈当日を除く〉、✉jt-kirib@mail.doshisha.ac.jp）

## フレッシュグリーンで卓上クリスマスツリーを作ろう

日時＝12月16日(火)午前10時30分～正午  
場所＝京田辺クロスパーク  
対象＝小学生以上の人。小学生は保護者の同伴が必要です。  
内容＝サツマシギやヒバを使って、家に飾るクリスマスツリーを作るほか、ガーランドには木の実や小花をあしらいます。  
講師＝フローリスト京阪の浜崎由香さん  
持ち物＝花用はさみ・持ち帰り袋  
定員＝15人。多数の場合は抽選します。  
費用＝2,500円  
申込方法＝電話か電子メールで、「卓上クリスマスツリー作り参加希望」・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を連絡してください。  
しめきり＝12月12日(金)午後5時  
申込・問合せ先＝京田辺クロスパーク管理事務所（☎29-9124、✉info-tanakuro.tcc.mb@mail.toray）



## けいはんなプラザ・出張プチコンサート

■音が繋ぐ祈り（LOVE 京田辺マルシェ内で開催）  
日にち＝12月14日(日)  
時間＝▼午後0時30分から  
▼午後3時から（各回約40分）  
場所＝ランチ松井山手  
内容＝京都市立芸術大学の卒業生や若手演奏家による歌とピアノのコンサート  
■クリスマスコンサート サックスカルテットの調べ  
日時＝12月20日(土)午後1時15分～2時45分  
場所＝けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK・精華町）  
曲目＝クリスマスメドレーなど  
定員＝先着120人  
【問合せ先】  
けいはんな学研都市活性化促進協議会（☎95-5034）

## 8,000個のライトが冬の夜を演出 新田辺駅前イルミネーション

近鉄新田辺駅前の樹木を、約8,000個のLED照明で飾ります。サンタクロースや手作りのオーナメントなど、趣向を凝らした優しい光が、行き交う人々の心を癒やし応援します。  
期間＝令和8年1月15日(木)まで  
時間＝午後5時30分～10時  
場所＝近鉄新田辺駅西側バスロータリー  
問合せ先＝都市緑化協会（☎63-0433）

